

# 事業報告書

## 第十三期

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日



岩国空港ビル株式会社

# 事業報告

## 1. 株式会社の現状に関する事項

### (1) 事業の経過

岩国錦帯橋空港は、平成 24 年 12 月、東京路線 1 日 4 往復の運航で開港し、現在は東京路線 5 往復・沖縄路線 1 往復の計 1 日 6 往復が就航するに至っております。開港 7 年目の平成 30 年度には年間約 52 万人の搭乗者と過去最高を記録しました。

しかしながら翌年の令和元年度末からの新型コロナウイルス感染拡大により就航便の欠航、移動制限などによる利用者の減少が続き、令和 4 年度においても 4 月から 3 ヶ月間の東京路線 1 往復の減便、また 8 月を中心とした第 7 波、11 月後半より第 8 波と思われる感染が発生し、搭乗者数の伸び悩みが続いておりましたが、年明けから全国旅行支援が再開され、搭乗者数については回復基調となり、結果的に令和 4 年度の搭乗者数は 36 万 3 千人(令和 3 年度 13 万 2 千人)、搭乗率は 52.3%(同 41.9%)で、開港以来過去最低となった令和 2 年度と比較し、搭乗者数は約 4.7 倍、搭乗率は約 1.5 倍となりました。

一方、不安定な世界情勢による物価の上昇、燃油費の高騰が経済に影響を与えており、当社においても収支へ大きく影響しました。

令和 4 年度は開港 10 周年を迎えた年であり、厳しい経営環境の中でも各種関係官庁、自治体、協議会などとも協力して記念事業に取り組んだことにより、空港の利用促進に貢献できたものと考えます。

### (2) 事業の成果

令和 4 年度は事業計画において前提としていた全便就航が 10 月から 7 月へ前倒しとなったものの、搭乗率を感染拡大前の約 70%から 60%になると見込んだ中で、実績が 52.3%となり、搭乗者数に応じた歩合制収入が損益計画より落ち込みました。

一方、全便就航の前倒しにより、航空機燃料給油業務と駐車場利用に係る収入が損益計画を上回り、当期の全売上高は 275,823 千円(対計画+11,823 千円 対前年+56,448 千円)の増収を達成することができました。営業費用については燃油費の高騰による影響が懸念されるなか、空調デマンド監視による節電や委託費用を中心に抑制を図りましたが 286,703 千円(対計画+10,703 千円 対前年+27,329 千円)となりました。

その結果、営業損益は△10,880 千円(対計画+1,120 千円 対前年+29,118 千円)となりましたが、営業外損益として事業復活支援金、節電プログラム参加特典などにより 3,688 千円、特別利益として県より駐車場運営維持費 30,000 千円が交付され、税引前当期純利益は 22,807 千円(対計画+4,807 千

円 対前年+28,587 千円)と改善されました。法人税等については 7,048 千円 (対前年+4,050 千円)となり、当期純利益は 15,759 千円(対前年+24,536 千円)となりました。

(3) 当社が対処すべき課題

これまで、空港利用者へのニーズに応えるべく、補助金等を活用しながら駐車場や空港ターミナルビルの機能の充実に努めて参りました。

更に、令和 4 年度は各施設が竣工後 10 年を迎えるため施設設備の経年対策として中長期的な修繕計画の策定と建物診断、委託管理を含めた維持管理体制を構築、経理業務におきましては令和 4 年度の税制改正への対応を進めているところであります。

今後におきましては、①施設設備維持管理費用や燃油費高騰による影響を補える収支のバランスの確保、②新型コロナウイルスの感染症法上第 5 類への移行後の環境変化に応じた空港の利用促進、③税制改正(インボイス制度・電子帳簿保存法)へ確実な対応について取り組む必要があります。

2. 設備投資等の状況

該当事項はありません。

3. 財産および損益の状況の推移

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	第 11 期	第 12 期	第 13 期
売上高	208,909 千円	219,375 千円	275,823 千円
経常利益	△49,772 千円	△36,816 千円	△7,192 千円
当期純利益	△12,041 千円	△8,777 千円	15,759 千円
1 株当たり当期純利益	△1,180 円 49 銭	△860 円 53 銭	1,545 円 2 銭
総資産	1,413,626 千円	1,320,021 千円	1,221,874 千円
純資産	741,286 千円	732,508 千円	748,268 千円
1 株当たり純資産	72,675 円 15 銭	71,814 円 60 銭	73,359 円 62 銭

4. 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

5. 主要な事業内容

- ① 航空旅客及び航空貨物ターミナルビルの貸室業
- ② 航空機燃料保管施設提供業
- ③ 有料駐車場業
- ④ 広告宣伝業 見学施設提供業

⑤ その他定款に定めた事業

6. 主要な営業所及び従業員の状況

① 主要な営業所

本社 山口県岩国市旭町3丁目15番1号

区分	営業面積:国有地借用面積	備考
航空旅客及び貨物ターミナルビル	9,486.74 m <sup>2</sup>	
航空機燃料貯蔵施設	2,702.47 m <sup>2</sup>	100Kℓ・50Kℓタンク各1基
駐車場	16,724.91 m <sup>2</sup>	850台収容
計	28,914.12 m <sup>2</sup>	

② 空港利用状況

乗入航空会社 全日本空輸株式会社

③ 路線及び便数

岩国～東京線 5往復 10便

岩国～沖縄線 1往復 2便

④ 入居者

(航空旅客及び航空貨物ターミナルビル)

航空会社 1社

売店 1社

飲食店 1社

レンタカー会社 4社

警備(航空保安検査)会社 1社

空港警備派出所 1機関

(航空機燃料保管施設)

施設管理及び給油会社 1社

⑤ 従業員の状況

男子	女子	計	平均年齢	平均勤続年数
2名	1名	3名	37歳	5.7年

※上記の他、嘱託社員1名在籍

7. 主要な借入先及び借入額

借入先	期末借入金残高
岩国市	429,680 千円

8. 会社の株式に関する事項

- (1) 資本の額 480,000 千円  
 (2) 発行可能株式総数 4,000 株  
 (3) 発行済株式の総数 10,200 株  
 (4) 事業年度末の株主数 23 名  
 (5) 主な株主

主な株主	株数	持株比率
山口県	4,000 株	39.22%
岩国市	1,200 株	11.76%
ANA ホールディングス株式会社	600 株	5.88%
株式会社カシワバラ・コーポレーション	600 株	5.88%
和木町	400 株	3.92%
中国電力株式会社	400 株	3.92%
サンデン交通株式会社	400 株	3.92%

9. 会社役員に関する事項

取締役および監査役の氏名等(令和5年3月31日現在)

地位	氏名	他の法人等の状況
取締役会長	柏原 伸二	(株)カシワバラ・コーポレーション 取締役会長
代表取締役社長	末永 睦	
常務取締役	藤本 裕司	
取締役	福田 良彦	岩国市長
取締役	米本 正明	和木町長
取締役	竹重 秀敏	サンデン交通(株) 代表取締役社長
監査役	村上 慎	(株)山口銀行 執行役員 岩国支店長
監査役	平岡 英雄	(株)西京銀行 代表取締役会長